

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

嵐 山 中 央 地 区 都 市 再 生 整 備 計 画

平 成 22 年 12 月 1 日

埼 玉 県 嵐 山 町

都市再生整備計画(第4回変更)

らんざんちゅうおうちく
嵐山中央地区

さいたま らんざんまち
埼玉県 嵐山町

平成22年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	らんざんまち 嵐山町	地区名	らんざんちやうおう ちく 嵐山中央地区	面積	216 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標：人々が安全・安心に暮らし、活気あふれる魅力的なまちの創造

目標1:区画整理事業による土地空間の整備を行い、良好な居住空間と利便性の向上を図る。

目標2:道路整備及び歩行者空間整備を行い、通勤・通学を始め歩行者等に安全で快適な居住空間を形成する。

目標3:異世代間の能動的交流拠点や防災整備として公共施設の整備を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・平沢地区土地区画整理は平成6年に事業認可を受け、3回の事業変更を行い、事業を行ってきた。平成17年度末で90.4%の進捗率となっている。

・駅西地区は、古くから本町の中心部としての役割を担ってきたが、郊外型店舗の立地により商店の撤退などによりまちの空洞化がすすんでいる。また、地区内の道路等の基盤整備水準が低く、通学や通勤及び駅を利用し嵐山渓谷等に向かう観光客の歩行者等の安全確保ができていない。

・駅西地区は土地区画整理事業などの面的整備を何度となく検討してきたが、厳しい財政状況や地権者の合意形成などの面から見送られてきた。

・武蔵嵐山駅は平成15年3月複線化及び橋上化になり、これまで以上に利便性を増した。平成18年7月からは民間路線バスが運行を開始するなど更なる利便性の向上とともに、観光客の増加などの活性化が期待される。

・総合振興計画後期基本計画や中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープランにおいても町の玄関口であり、整備し活性化する地域と位置づけている。

・平成18年5月に旧駐在所を改修した「嵐山パトロールセンター」を整備し、地元自治組織やPTAなどの協力により、ボランティアによるパトロールなどの防犯活動を行っている。

・駅西地区では商工会を中心としてボックスショップの開店や朝市などを行い、夏には夏祭りをおこなうなど、まちづくりへの住民参加等が積極的に進められ、気運が盛り上がってきている。

・中央公民館は昭和45年に建築されて以降、多く方に利用してもらっている。しかし、防災拠点となっているにもかかわらず、耐震化されていないなど問題がある。また、平成8年に当地区から役場庁舎が移転し、出張所として現在に至るが、この施設においても耐震性など問題がある。

課題

人々が安全で安心に暮らせるまちづくりを進め、活力と魅力あふれる居住空間を整備することが喫緊の課題である。

・土地区画整理事業は、地区計画等により狭小宅地の解消と防火や防犯に配慮を目指した良好な居住空間と利便性の向上のため、街区道路や歩道及び調整池等の公共施設の整備と宅地造成を行う必要がある。

・小中学校の通学路及び駅からさいたま緑のトラスト保全第3号地、武蔵嵐山溪谷、蝶の里公園などに向かう観光客が通行する道路等は歩道や信号の待避所などがなく、安全が確保されていない。

・駅西地区は、町の中心市街地となっているが、狭隘道路が多く、東西に抜ける道がないため住民等が行き交うことができておらず、にぎわいを取り戻すことが必要である。

・公共施設においては、多くの住民が訪れ、なおかつ地域防災計画の指定施設となっているが、耐震基準を満たしておらず、さらにバリアフリー化も対応していない。

・避難所的な公園も不在な箇所もあり、地域住民のふれあえる場所が不足している地域がある。

将来ビジョン(中長期)

誰もが安全で安心して居住でき、人と人との交流する、活気と緑あふれる嵐山町の玄関口

・総合振興計画では、駅西地区を活性化のための整備手法を検討し、整備を行う地域として位置づけられている。また、区画整理事業地は早期完成を実現する地域と位置づけている。

・都市計画マスタープランでは、嵐山町の玄関口にふさわしい景観拠点の形成、良好な居住空間の形成する地区と位置づけられている。

・中心市街地活性化基本計画においても、嵐山町の玄関口、顔として「誰もが誇れるにぎわいのある街」などの基本的な方針が示されている。

・駅西地区については、これまでも商工会とともにボックスショップや朝市などの活性化を図ってきたが、観光客の増加により更なる連携を図り活性化に取り組んでいく。

・自治組織及びPTA等の防犯ボランティアが盛んで、防犯に対する意識も高く、「嵐山パトロールセンター」も設置され今後も安全・安心で、住民がふれあえるまちづくりを進めていく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 駅までの歩行時間	分	平沢土地区画整理地内から武蔵嵐山駅までの歩行時間	区画整理地内の道路整備により、歩道があり安全に通行できる道路の駅までの通勤・通学時間を短縮することにより、居住性及び利便性の向上を目指す。	18	平成18年度	15	平成23年度
2. 交通安全対策における満足度	%	交通安全対策における満足度	道路や歩道の整備し、通勤通学等における交通安全対策の満足度の向上を目指す。	10.6	平成17年度	25.0	平成23年度
3. (仮称)ふれあい交流センターの利用者数	人/年	(仮称)ふれあい交流センターの利用者数	既存施設の改装・増築をすることにより、利用者を増加させ、まちの活性化を図る。	44,518	平成17年度	49,000	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1(良好な住宅空間の形成) ・平沢土地区画整理事業は平成6年に事業を開始し、その後多くの住宅や店舗を集積し、まちの発展に寄与してきた。今後も事業を推進することにより、良好な居住空間を形成し、かつ利便性の向上を図る。 ・駅西地区のコミュニティ道路の整備など歩行者にやさしい道路整備を行い、有効な土地利用を促し、まちの活性化を図る。		土地区画整理事業(基幹事業) 道路整備(基幹事業)
整備方針2(歩道整備や防災広場の整備による安全確保) ・危険箇所における歩道設置や交通量の多い交差点での信号待避所の整備、道路整備を行なうことにより、通勤・通学などの安全対策を図る。 ・多くの方が訪れる嵐山中央公民館は、地域防災計画において避難場所として指定されているが、耐震構造となっていない。既存の施設を改装・増築し、(仮称)ふれあい交流センターとして整備することにより、避難場所としての周辺住民の安全確保の中心的役割とする。 ・嵐山中央公民館は取り壊し、防災時の避難場所の確保として整備や、地域の消防団の消防車庫の整備を行う。		道路整備(基幹事業) 地域生活基盤整備(基幹事業) 地域創造支援事業(提案事業)
整備方針3(地域住民間交流によるにぎわいの創出) ・嵐山町の玄関口としてのにぎわいを確保するため、コミュニティ道路等の整備を行う。 ・既存の施設の改装・増築により、既存施設とともに公民館機能としての充実を図り、世代間交流の場としてこれまで以上に利用を促すことにより、活性化を図る。 ・地域住民のふれあう場所としてコミュニティ公園の整備を行う。 ・防犯等の地域ボランティアや各種まつりの開催などにより、住民間交流を進め、にぎわいあるまちづくりを行う。		道路整備(基幹事業) 公園整備(基幹事業) 地域創造支援事業(提案事業)
その他		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		2,550	交付限度額		1,020	国費率		0.4	(金額の単位は百万円)					
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		町道2－21号線(A工区)	町	直	L=149.15m	H20	H23	H20	H23	35	35	35		35
		町道2－21号線(B工区)	町	直	L=83.36m	H20	H23	H20	H23	40	40	40		40
		1－15号交差点	町	直	L=65m	H20	H21	H20	H21	56	56	56		56
		東原区4－2号線	町	直	L=10.3m	H19	H19	H19	H19	6	6	6		6
		東原区4－5号線	町	直	L=7.6m	H20	H20	H20	H20	1	1	1		1
		テニスコート東側線	町	直	L=120m	H23	H23	H23	H23	21	21	21		21
		菅谷3号線	町	直	L=370.5m	H20	H23	H20	H23	224	224	224		224
		川島49号線	町	直	L=84m	H19	H19	H19	H19	7	7	7		7
		町道1－14号	町	直	L=371.8m	H19	H20	H19	H20	50	50	50		50
		菅谷東西線	町	直	L=500m	H19	H23	H19	H23	291	291	291		291
		菅谷45号線	町	直	L=45m	H21	H23	H21	H23	19	19	19		19
		駅前深嵐線	町	直	L=50m	H20	H22	H20	H22	34	34	34		34
	公園		東原第2公園	町	直	1,010㎡	H19	H19	H19	H19	8	8	8	
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		－			－									
地域生活基盤施設		停車場線ポケットパーク	町	直	－	H19	H20	H19	H20	26	26	26		26
高質空間形成施設		－			－									
高次都市施設		－			－									
既存建造物活用事業		－			－									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業		平沢土地区画整理事業	平沢土地区画整理組合	間	34.3ha	H6	H23	H19	H23	5,660	1,530.5	1,343.5	187	1,343.5
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										6,478	2,348.5	2,161.5	187	2,161.5

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	役場出張所の解体、交流センター の整備、防災広場の整備、消防車 庫の整備	(仮称)ふれあい交流センター	町	直	1,899.46㎡	H21	H23	H21	H23	388	388	388		388
														0
事業活用調 査		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活 動推進事業		—			—									0
		—			—									0
合計										388	388	388	0	388
													合計(A+B)	2,549.5

(参考)関連事業											
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
防犯対策事業	菅谷地区	町					○		平成17年度		
合計											0

都市再生整備計画の区域

嵐山中央地区(埼玉県嵐山町)	面積	216 ha	区域	嵐山町大字菅谷、大字川島、大字平沢、大字志賀、大字千手堂、むさし台の各一部
----------------	----	--------	----	---------------------------------------



